

令和8年度 シラバス

教 科	家庭	科 目	保育基礎	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科・商業科
単位数	2単位	教科書	保育基礎（教育図書）				
副教材							

学習目標	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。
------	---

キャリア 教育の視点	保育基礎では、講義形式の授業だけでなく、実習や保育技術検定、児童文化財（絵本、おもちゃなど）の製作、地域の保育ボランティア活動等を行います。それらの活動を通して、保育者として健康的な文化環境を与え、積極的に子どもと関わることのできる能力が身に付きます。
---------------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第5章 子どもの文化 保育技術検定4級 (造形、音楽、看護、表現) 保育技術検定3級 (折り紙と描画、ピアノ演奏と歌唱、 衣服の着脱、紙芝居の実演)	子供の文化、遊びと表現活動について学び、保育の技術を身に付けられるようにします。	期末考查
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	運動会競技案 運動会競技練習 第1章 子どもの保育 第2章 保育の環境 第3章 子どもの生活 壁面工作制作 児童文化財制作	園児と運動会で、競技や踊り等を通して、交流をします。 子供の心身の発達に応じた保育の方法とその環境について学びます。 子供が主体的に環境に関わることによって心身の発達が促されることを学びます。 子供の健康的な生活を支える保育の技術を身に付けられるようにします。 児童文化財を制作します。	期末考查
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	第4章 子どもの福祉	子供の福祉を支える様々な施設の役割について理解し、課題を考えます。	

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動、グループ活動、発表、プレゼンテーションソフトを用いた授業など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習します。 また、全国高等学校家庭科保育技術検定2、3級取得を目指します。
-------	--

評価の仕方	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、定期考查、実習やノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価します。
-------	--

備考	年間を通じて、保育施設での実習を実施しています。
----	--------------------------